

公表監第8号

地方自治法第199条第2項及び第4項の規定による定期監査を実施したので、
同条第9項の規定に従い、別紙のとおり公表します。

令和2年2月12日

西宮市監査委員	亀井健
同	石橋正紀
同	大原智
同	菅野雅一

付記

報告監第20号	定期監査結果報告	防災危機管理局
報告監第21号	定期監査結果報告	市民局
報告監第22号	定期監査結果報告	会計室
報告監第23号	定期監査結果報告	消防局

目 次

防災危機管理局

第1	監 査 の 対 象	20 - 2
第2	監査の期間及び方法	20 - 2
第3	監 査 の 結 果	20 - 2
	1 収 入 事 務	20 - 3
	2 支 出 事 務	20 - 3
	3 財 産 管 理 事 務	20 - 3
	4 服 務 関 係	20 - 4
	5 委 託 業 務 等	20 - 4
	6 む す び	20 - 5
	資 料	20 - 6

凡 例

- 1 各表中の符号は、次のとおりです。
「0」「0. 0」は、0または単位未満のもの。
「△」は、減少・低下。
「-」は、算出不能・不要。
- 2 文中及び表中に用いている比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、合計と内訳の計、差引きが一致しない場合があります。
- 3 文中及び表中に用いている数値で、千円単位又は万円単位で表示しているものは、単位未満を切捨てています。このため、合計と内訳の計、差引きが一致しない場合があります。
- 4 原則として、「第3 監査の結果」以降の文中及び表中の元号表記のうち、「平成」は省略しています。

西宮市監査委員	亀井	健
同	石橋	正紀
同	大原	智
同	菅野	雅一

定期監査結果報告
(防災危機管理局)

地方自治法第199条第2項及び第4項の規定により定期監査を行った結果は次のとおりです。同条第9項の規定に従い報告します。

定期監査結果報告書

第1 監査の対象

防災危機管理局における、主として平成31年4月1日から令和元年8月31日までの期間に執行された事務を対象に監査を実施しました。

報告書の作成にあたっては、事務の執行状況について、できるだけ直近の数値を用いるよう努めました。

監査の対象とした防災危機管理局の組織及び職員数の状況(平成31年4月1日現在)は、以下のとおりです。

(単位：人)

組 織		正規職員	嘱託職員
局室長		2	1
防災総括室	参事	1	
	地域防災支援課	9	
	災害対策課	13	1
計		25	2
職種別内訳(再掲)	事務職	14	1
	技術職	8	
	消防職	3	1

第2 監査の期間及び方法

令和元年10月24日から事務局監査に入り、令和2年1月14日に監査委員による質問会を実施し、その後、結果報告の審議を行いました。

第3 監査の結果

次のとおりです。

1 収入事務

収入事務について、関係書類を抽出して調査したところ、おおむね適正に処理されていました。

2 支出事務

支出事務について、関係書類を抽出して調査したところ、おおむね適正に処理されていました。

3 財産管理事務

(1) 備品等の管理

備品等について、台帳と現物を照合して抽出調査したところ、廃棄手続もれになっているものが一部に見られました。今後、適正な事務処理に努めてください。

(2) 資器材倉庫

水防倉庫は市内に5か所あり、南部では東川に西福水防倉庫、夙川に夙川水防倉庫、武庫川に鳴尾水防倉庫、北部では武庫川に塩瀬水防倉庫、有馬川に山口水防倉庫が置かれています。これ以外の資器材倉庫が、大屋町、津田町、津門住江町、甲陽園東山町、生瀬町2丁目の5か所に置かれています。

鳴尾水防倉庫及び夙川水防倉庫を抽出し調査したところ、鳴尾水防倉庫にはジャッキ、担架、ロープなどが、また、夙川水防倉庫にはクリッパー、ジャッキ、担架、救命浮き輪などが、それぞれ適正に保管されていました。災害が発生し水防倉庫から資器材を搬出する必要が生じたときは、指定番号をボタンで押すことにより現場で直ちに解錠することができるようになっています。

なお、前回監査で有効活用されていないと指摘した甲陽園東山資器材倉庫については、設置場所に応じた有効活用に努めていました。

(3) 備蓄倉庫

広域大災害発生時に想定される流通備蓄等の停滞に備えて、避難所で必要となる食糧（想定避難者数64,220人×3日×1食/日=192,660食）、高齢者や女性に配慮した物資等を計画的に備蓄しており、避難者へ迅速に配布できるよう指定避難所となる市内のすべての市立の小中学校等の65か所と大型防災備蓄倉庫3か所に分散して備蓄する計画で、現在40か所の備蓄倉庫が整備されています。

前回指摘した、避難所収容予定者数と備蓄食糧、備蓄品などの数量が対応していないことについては、30年3月末に備蓄食糧、備蓄品の数量が計画予定数量に達し、それ以降は各備蓄倉庫への必要数備蓄が計画的に進められ、賞味期限に達した食糧についての追加購入も行われています。今後、時代の要請に応じた新たな品目も検討し想定避難者数に対応する物資の備蓄を確実にを行うとともに、関係部局と調整を図り備蓄倉庫の計画的整備に努めてください。

(4) 自主防災資機材

災害発生直後において、住民の安否確認、初期消火、負傷者救出・救護、避難誘導等を組織的に行うなど大きな役割を担っている自主防災組織に対して、ヘルメット、ライトなど防災資機材を支給しています。

また、おおむね小学校区内に係る自主防災組織が使用するために、消防ポンプや発電機などの校区防災資機材を配備しています。

緊急時における有効活用について疑問が残る消防ポンプの配備については、前回指摘後、要綱施行細則を改正し消火器などを選択できるようになっていますが、廃止に向け早急に検討を進めてください。

4 服 務 関 係

サービス関係の事務について、関係書類を抽出して調査したところ、台風接近への対応に係る時間外勤務において、15時間余り連続で業務に従事している事例が見られました。業務の性質上やむを得ない側面もありますが、必要な休憩時間が確保できる勤務体制を構築するよう引き続き努めてください。

また、嘱託職員の時間外勤務命令簿において、超過勤務の割増率の適用が誤っているものが見られました。今後、適正な事務処理に努めてください。

5 委 託 業 務 等 ※「資料1～3」参照

(1) 委託業務

監査の対象とした委託業務から2件を抽出して調査したところ、おおむね適正に処理されていました。

(2) 請負工事

監査の対象とした請負工事から1件を抽出して調査したところ、おおむね適正に処理さ

れていましたが、仕様書等に記載している工事従事者資格について未確認の事例がありますので、記載内容の再チェックと書面等による確認を図り、市民や工事従事者の安全を確保してください。

(3) 修繕業務

監査の対象とした修繕業務から1件を抽出して調査したところ、おおむね適正に処理されていました。

6 む す び

主に財務事務を中心に監査を実施しましたが、大きな事務処理の誤りなどは見受けられませんでした。また、法律や上位計画、直近に発生した大規模災害を踏まえた地域防災計画の修正など、定期的に制度の見直しが行われています。

阪神・淡路大震災発生から25年が経過しましたが、南海トラフ地震の発生が想定され、また近年全国で大規模な風水害が多発しています。今後も確実な災害対応の実現に向けて、危機管理監のもと全庁的な司令塔として防災体制の充実を進めるとともに、関連部局と連携し自主防災組織や地域避難支援制度における避難支援団体の拡充など地域防災力の向上を図る取組みを進めてください。

資 料

(委託業務等)

資料1	委託業務及び請負工事に係る契約の状況	20-7
資料2	契約における落札率(決定率)の状況	20-7
資料3	監査の対象とした委託業務等の状況	20-7

資料1 委託業務及び請負工事に係る契約の状況(令和元年8月末日現在)

区分	委託業務			請負工事		
	件数 (件)	(%)	金額 (円)	件数 (件)	(%)	金額 (円)
一般競争入札	2	16.7	3,130,440	0	0.0	0
指名競争入札	1	8.3	7,150,000	0	0.0	0
入札打切後随意契約	0	0.0	0	0	0.0	0
見積合せ	0	0.0	0	0	0.0	0
特命随意契約	9	75.0	45,646,824	1	100.0	4,730,000
計	12	100.0	55,927,264	1	100.0	4,730,040

- 注1 設計金額500,000円以上(単年度)のもの。
 2 委託業務の件数には指定管理分は含まれていない。
 3 金額は当初契約金額。

資料2 契約における落札率(決定率)の状況(令和元年8月末日現在)

(委託業務)

区分	落札率(決定率)							計
	100	100未満 95以上	95未満 90以上	90未満 85以上	85未満 80以上	80未満 70以上	70未満	
一般競争入札 (件)	0	0	1	0	1	0	0	2
構成比(%)	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7
指名競争入札 (件)	0	1	0	0	0	0	0	1
構成比(%)	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
特命随意契約 (件)	9	0	0	0	0	0	0	9
構成比(%)	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
計 (件)	9	1	1	0	1	0	0	12
構成比(%)	75.0	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	100.0

注 落札率(決定率) = 契約金額 ÷ 予定価格 × 100

(請負工事)

区分	落札率(決定率)							計
	100	100未満 95以上	95未満 90以上	90未満 85以上	85未満 80以上	80未満 70以上	70未満	
特命随意契約 (件)	0	1	0	0	0	0	0	1
構成比(%)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
計 (件)	0	1	0	0	0	0	0	1
構成比(%)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

注 落札率(決定率) = 契約金額 ÷ 予定価格 × 100

資料3 監査の対象とした委託業務等の状況(令和元年8月末日現在)

(委託業務)

区分	件数(件)	契約金額(円)	業務名
(一般会計) 防災総括室 防災対策費	8 (2)	50,681,930	校区防災資機材点検業務 西宮市地域防災計画等改定調査業務 他
水防費	4 (0)	5,245,334	台風10号災害対策処理業務 他
計	12 (2)	55,927,264	

- 注1 設計金額500,000円以上(単年度)のもの。
 2 件数の()は抽出調査件数。

(請負工事)

区分	件数(件)	契約金額(円)	工事名
(一般会計) 防災総括室			
防災対策費	1 (1)	4,730,000	御代開公園防災行政無線屋外拡声子局更新工事
計	1 (1)	4,730,000	

注1 設計金額500,000円以上(単年度)のもの。

2 件数の()は抽出調査件数。

(修繕業務)

区分	件数(件)	契約金額(円)	工事名
(一般会計) 防災総括室			
防災対策費	1 (1)	628,560	雨量情報システム無停電電源装置更新修繕
計	1 (1)	628,560	

注1 設計金額500,000円以上(単年度)のもの。

2 件数の()は抽出調査件数。